

税関労組ニュース

jcu



第982号

令和7年12月5日

税関労組HP

 PC版: <https://j-union.com/~zeikan-roso/>
 携帯版: <https://j-union.com/~zeikan-roso/html/>


日本税関労働組合

 東京都千代田区霞が関 3-1-1
 財務省内 西 151 号室
 TEL 03-3581-4111(代) 内線 2969
 (直通) 03-3593-1790
 (FAX) 03-3593-1788
 (E-mail) zeikan-roso@kfy.biglobe.ne.jp

 発行人 仲野裕幸
 編集人 田村史成

11.14 中央総決起集会開催！



団結ガンバローの様子

日本税関労働組合は令和7年11月14日、都内において、中央総決起集会を開催し、全国から約100名の組合員が集まりました。

集会は冒頭、高橋副中央執行委員長（東京）の開会挨拶で始まり、来賓の田中和徳衆議院議員から公務員を取り巻く情勢や水際で取締を行う税関の役割の重要性と税関職員の定員確保の必要制についてお話をいただき、激励の挨拶を賜りました。

また、仲野中央執行委員長から主催者を代表して、公務員を取り巻く情勢や、税関の職場における喫緊の課題を説明したのち、級別定数の拡大に向けた取り組みを進めていき、組合員一人一人の心、気持ちを一つにすることが必要であるとの挨拶がありました。

続いて、国会議員の方々、並びに上部団体、友誼団体からも数多くの連帯、激励のメッセージが寄せられ、代表して自由民主党の鈴木俊一幹事長及び全大蔵労働組合連絡協議会のメッセージが読み上げられました。

続いて、原川書記長より10月20日に行った人事院交渉及び内閣人事局交渉の結果を中心に税関の定員・級別定数の確保に向けた秋闘期における税関労組の取り組みなどについて情勢報告が行われました。

その後、函館、名古屋、門司の各地区本部の代表者による力強い決意表明及び横浜地区本部による集会宣言の提案が行われ、会場の満場の拍手により確認と採択が行われました。

最高潮に達した集会は、福本副中央執行委員長（長崎）による閉会挨拶がされ、仲野中央執行委員長の「団結ガンバロー」により組合員の一致団結を確認し、盛会のまま締めくくられました。

～来賓紹介～



田中和徳衆議院議員

大会当日、私たち税関労組のために、激励にかけつけていただきました、来賓の田中和徳衆議院議員（党）を紹介いたします。田中先生は、税関労組の推薦議員でもあり、常日頃からわたしたちの活動に大変ご理解とご協力をいただいています。

大変お忙しい中、暖かいお言葉をいただきありがとうございます。

激励及び連帯メッセージ紹介

11. 14 央総決起集会の開催にあたり、多くの国会議員及び上部団体・友誼団体から激励と連帯のメッセージが寄せられました。

日頃より、税関労組の活動に対して、ご理解とご協力をいただいている方々です。

【自由民主党】 森 英介、鈴木 俊一、田中 和徳、御法川 信英、田畑 裕明、石田 昌宏

【立憲民主党】 原口 一博、海江田 万里、末松 義規、逢坂 誠二、小沢 雅仁、柴 慎一

【国民民主党】 古川 元久、円 より子

【社 民 党】 福島 みずほ

【上部団体及び友誼団体】 日本労働組合総連合会、国際公務労連加盟組合日本協議会、公務・公共サービス労働組合協議会、全日本自治団体労働組合、全日本水道労働組合、日本高等学校教職員組合、全国林野関連労働組合、政府関係法人労働組合連合、全駐留軍労働組合、全開発労働組合、国公関連労働組合連合会、国税労働組合総連合、全財務労働組合、全大蔵労働組合連絡協議会、全印刷局労働組合、酒類総合研究所労働組合、全造幣労働組合、全日本たばこ産業労働組合、全国労働者共済生活協同組合連合会、中央労働金庫



函館地区本部

寺田さん

摘発、迅速・適正な輸出入貨物通関、関税等の適正な徴収等社会の安全・安心を守るため、日々懸命に職務にあたっている。

コロナ禍終息後、訪日外国人旅客数は増加し続け、地方空港では定期便の復活や新規就航が相次いでいるほか、海港では国際クルーズ船の入港隻数が増加しているが、相互応援によって対応してもなお取締職員は不足しており、休暇さえ満足に取得できない状況にある。

また、令和4年からのロシア等に対する輸出入規制、経済安全保障の取締強化への対応など、通関部門の業務量も年々増加しているのみならず、習得すべき知識も年々複雑化している。

さらに、人員や取締機器も増加し、それを管理する総務・管理系の仕事は増加しているが、職員数は変わらず、疲弊している。

このような中であっても、我々は限られた人員の中で、税関に課せられた使命を果たすため、ますます増大・困難化する業務に一生懸命取り組み、要求した人員増が実現せず、そのため、現場における一人一人に課せられた責任・業務量は加速度的に増大の一途である！

この情勢のなか、当関の職員は、国民の安全・安心を守り、その負託に応えるべく、旺盛なる使命感・責任感をもって業務にまい進しているところであるが、組合の力なくしてこの状況を打破することはできない。

私たち函館地区本部と共に組織の総力を結集し、ゆとりある職場、豊かな生活をかちとるため、今後とも力を合わせて、勇気をもって行動しようではありませんか！

函館地区本部決意表明

函館税関は、北海道と北東北3県という広大な管轄区域をもち、その中に多くの遠隔地・小規模官署が散在している。職員の多くが地方に配置されているという事情のなか、社会悪物品の

名古屋地区本部決意表明



名古屋地区本部
平松さん

税関は、水際
の最前線にお
いて、「安全・
安心な社会の
実現」「適正か
つ公平な関税
等の徴収」「貿
易の円滑化の
推進」という3

つの使命を果たすべく、空港や港を始めとする様々な職場で、不正薬物や銃砲、金地金等の密輸取締り、輸出入貨物の通関業務及び輸出入事後調査などの業務を行っているなか、自動車運転手は、普通車両の運転に加え、税関の密輸取締業務に欠かすことができない、X線検査装置や不正薬物・爆発物探知装置を搭載した特殊車両の運転も担っている。

また、行（一）職員は、大型トレーラーなどが頻繁に往来する港湾地域など、一般の道路とは違う危険な場所を運転すると思いますが、安全運転訓練・講習や職員運転指名者の技量見極め、さらには安全運転の啓発などにも取り組んでおり、単に運転するにとどまらず、その付加業務は多岐にわたり、バックアップする形で税関行政に携わっている。

そのような中、技能労務職員については、昭和58年の閣議決定を受け、職員の後補充は原則として不補充となっており、部下数制限もあることから、上位級への昇格が進まず、将来に希望の持てる処遇が確立されていない現状にある。

実際に名古屋税関では私の採用を最後に26年間自動車運転手の採用がない。入関した時には10名いた運転手も現在は、再任用者を含め5名となっている。このような状況の中にあっても、業務量は減少することなく、さらに増加しているため、現在の人数では、裁くことができず、各職場から要請のあった出張等に係る運転を断るなど、支障が出ている状況にある。

この状況を改善するため中央で、毎年各専門員会を開催し、職場の実態把握・運動の進め方や要求事項の構築などについて意思統一を図り、関税局長及び各税関長に対し技能職組合員の処遇改善等の要求書を提出するなどして活動しているが、なかなか要求が届かないのが現状である。

さらに、令和5年4月から国家公務員の定年を段階的に65歳に引き上げることとなったが、技能職職員には役降り制度が適用されないため、車庫長といった役職のまま、降任せず定年を迎えることになった。このことは、中高年層の処遇停滞に繋がるので、当局に対し、停滞とまらないよう強く要求していかなければならない。

このように、技能職職員を取り巻く情勢は非常に厳しいものであるが、引き続き税関労組に結集し、全国にいる多くの仲間とともに要求実現に向けて取り組みを一層強めていく。

門司地区本部決意表明



門司地区本部
財前さん

門司税関には、26の官署が存在し、管内には離島も多く小規模官署も多数ある。それらの官署で働く職員は、国民からの行政需要に応えるべく、高い使命感を持ち、少

ない人員で大規模官署に働く職員一人当たりと変わらない業務量をこなし、また年々、複雑・困難化していく業務を不断の努力で遂行日夜精励している。一方、2024年の九州への入国旅客数は約500万人となった。このような状況の下、当関は九州の玄関口である福岡空港を管轄しており、同空港の入国旅客は約340万人であった。対前年比で27・6%増と伸び、過去最高となっている。

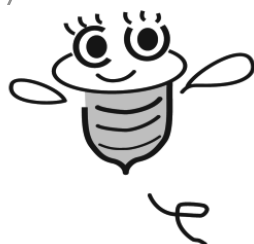
さらに、同じく管内の博多港についても、入国旅客が前年比でより大きく増加している。加えて、入国旅客数が大幅に増加している他にも、越境ECの急拡大により、当関における輸入小口貨物の申告件数も急速に増加している。

このように業務量が増加している状況にあつて、取締業務の面からみても様々な変化が生じており、その変化に対応することが求められているが、現在の人員では、増加していく業務量に足りておらず、組合員の旺盛な使命感を持ってしても限界に達していると言わざるを得ない。

必要な定員確保以外にも、職員の処遇改善、職場環境整備等、数多くの課題があり、それらを解決していくためには、ますます組合の持つ役割は大きなものになっていくと考える。

私たち門司地区本部は、「健康で明るく働きたいのある職場」「ゆとり・豊かさが実感できる生活」の実現に向けて、各地区本部とともに活動を行っていく。

素晴らしい決意表明
ありがとうございました！



集会宣言



横浜地区本部
清水さん

わたしたち日本税関労働組合は、「健康で明るく働きがいのある職場」、「ゆとり、豊かさが実感できる生活」の実現を理念とし、日々、活動を展開し続けている。現在、税関の職場では、増加し続けている訪日外国人旅客への対応、越境電子商取引の拡大や輸入貨物の小口化の進展に伴い、航空貨物などの激増への対応、ロシア情勢や経済安全保障に係る輸出貨物への対応など、体制整備を必要とする業務が増加している。

他方、覚醒剤等不正薬物の水際取締りにおいては、直近9年前から不正薬物の押収量は連続で1トンを超えており、今年も上半期で1トンを超え、10年連続が確定している。そして、押収量の増加に伴い、密輸手口も年々巧妙化しており、これらに毅然と対応していくには、これまで以上のマンパワーが必要で、税関職員の定員確保、大幅な増員は必然である。

加えて、国家公務員の定年の段階的引き上げなど、将来に対して不安を抱かざるを得ない問題も山積しているが、水際の第一線にあって、国民の安全と安心を守り、適正・公平に関税等を徴収し、貿易の円滑化を推進して経済の発展に寄与すべく、わたしたちは日夜、誇り高く職務に精励している。

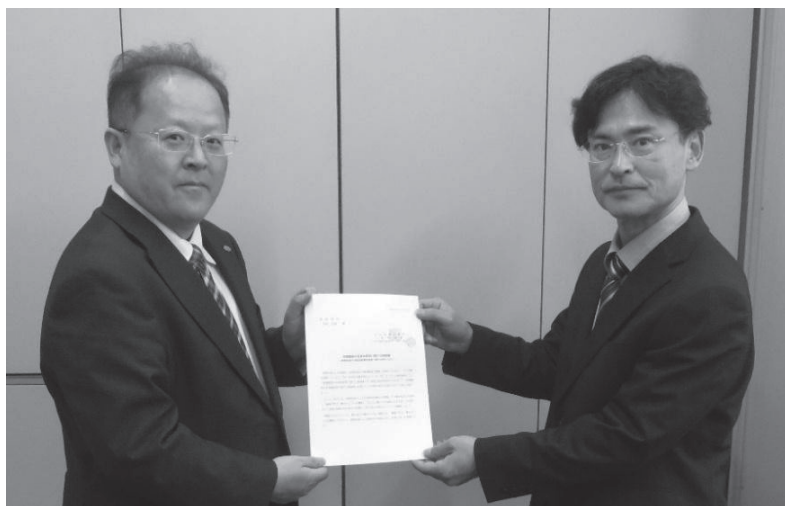
どんなに社会情勢や環境が変化しようとも、わたしたちは、国民から負託された税関職員としての使命を果たしつつ、要求の実現のために、全国の仲間が結ばれていることを基盤として、自らの意思を行動に移していかなければならない。

先日開催された第66回定期大会において、組織の重点取組を盛り込んだ運動方針を決定し、また、本集会における各地区本部の力強い決意表明をもって、要求の実現に向けて考え行動していくことを、本日あらためて確認した。

わたしたち日本税関労働組合は、「健康で明るく働きがいのある職場」、「ゆとり、豊かさが実感できる生活」の実現を目指し、全国の仲間とともに総力を結集して、税関という職場の未来のため、いかなる困難にも屈することなく最後まで闘い抜くことをここに宣言する。

令和7年11月14日

日本税関労働組合
11.14中央総決起集会



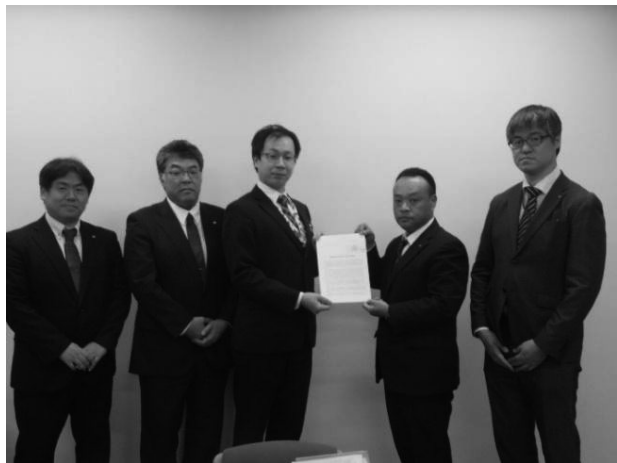
要請書を受け取る馬場崎税関考査管理室長（右）

税関労組は、11月17日（月）、中央総決起集会にて採択された集会宣言を「税関職員の処遇改善に関する要請書」として関税局長あてに提出し、集会宣言の趣旨を十分に理解し、「健康で明るく働きがいのある職場」となるよう、格段の努力を要請しました。
当局からは、「関税局長を始め、局幹部等にお伝えする。」との回答でありました。

関税局長あてに
集会宣言を提出！

人事院交渉

税関労組は10月20日、仲野中央執行委員長含め総勢5名で人事院との交渉を実施し、人事院総裁あて「税関職員の処遇改善等に関する要請書」を人事院給与局の辻本給与第二課制度班専門官に手交しました。交渉は冒頭、仲野中央執行委員長により、税関を取り巻く情勢の変化により税関職員の業務量及び職責が増していること、また、本年3月の衆参での全会一致の附帯決議獲得により国政の場において与野党間わず賛成されていることから、税関職員の処遇改善についてなお一層の理解を賜るよう要請を行いました。その後、原川書記長が級別定数の改善を中心とした要請書の記書き及び趣旨を説明しました。



要請書を手交している様子

これに対して、辻本専門官からは、「税関職員の方々におかれては、使命を果たすために、日夜、職務に精励されていることに敬意を表す。」とした上で、

「級別定数の改定作業については、本年予算編成のスケジュールに沿って作業を進めているところであり、本年12月下旬に内閣総理大臣に対して級別定数の設定改定に関する人事院の意見を申し出る予定である。」

「級別定数の改定については、それぞれの職場における業務の複雑、困難、高度化という実情、組織の人員構成をも考慮して必要に応じ専門職の増置や各官職の関わり等の措置を行い、世代間の公平性や、円滑な人事管理といった面にもできる限り配慮しながら改定を行ってきている。」

その後、高橋副中央執行委員長（東京）、齋藤副中央執行委員長（横浜）、福本副中央執行委員長（長崎）から税関労組を代表して各現場の声をお伝えするとともに、業務量及び職責に見合った4級から6級までの級別定数の確保など、処遇の改善について重ねてお願いしました。

これらに対して、辻本専門官からは、「本日いただいた要望や伺った職場の実態については、今後の査定にしっかりと活かしていきたい」と

のご回答をいただきました。税関労組として引き続き、定員確保の必要性を訴え続けていきます。

内閣人事局交渉

税関労組は、10月20日（月）、仲野中央執行委員長含め総勢5名で、内閣人事局との個別交渉を実施し、国家公務員制度担当大臣あて「税関職員の定員確保等に関する要請書」を内閣官房内閣人事局（金融庁・財務省担当）勝俣参事官補佐に手交するとともに、税関を取り巻く状況を説明し、税関職員の定員増への理解を求めました。

交渉は冒頭、仲野中央執行委員長により、税関を取り巻く情勢の変化により税関職員の業務量及び職責が増していること、また、本年3月の衆参での全会一致の附帯決議獲得により国政の場において与野党間わず賛成されていることから、税関職員の処遇改善についてなお一



要請書を手交している様子

層のご理解を賜るよう要請を行った後、高橋副中央執行委員長（東京）、齋藤副中央執行委員長（横浜）、福本副中央執行委員長（長崎）から税関労組を代表して各現場の声をお伝えするとともに、業務量及び職責に見合った4級から6級までの級別定数の確保など、処遇の改善についてお願いしました。

これに対して勝俣参事官補佐からは、

「本年5月に関西空港税関支署、大阪税関外郵出張所、コンテナ検査センターを視察し、現場の実情を拝見した。お話にもあった通り、コンテナ貨物、SP貨物が増加していることは重々承知している。また、国内には訪日外国人が多くいることも承知している。そのような背景もあって税関職員の皆さんがご苦労していることも承知している。定員に関しては、コメントをすることが難しいけれども、しっかりと検討し査定を行っていただくための査定となる。」との回答をいただきました。税関労組として引き続き、定員確保の必要性を訴え続けていきます。

連合・愛のカンパの協力のお願い

「連合・愛のカンパ」については、社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援、および自然災害等による被災者に対する支援・救済を目的としております。

なお、2024年度「連合・愛のカンパ」への全国からの集約金は、およそ8,681万円となりました。ご協力ありがとうございました。

税関労組では、運動方針「IX より良い社会をめざして」のもと、労働組合の持つ社会的責任を果たすため、「愛のカンパ」や「平和行動への参加」に取り組んでいます。

今年も連合より、2025年度「連合・愛のカンパ」の取組みの協力要請が各加盟組織にありました。税関労組としても長年にわたって協力してきているところであり、皆様からのご協力をお願いします。

詳細につきましては、中央書記局若しくは各地区本部執行部へお問い合わせください。

連合・愛のカンパ

世界の仲間たちから「愛の力がとも」がとどいています。

わたしたちは今年も「愛のカンパ」活動に取り組んでいます。ひとひとの小さな力が、おそろいなおおきな力になって、たくさんの方々に届けられています。みなさまの愛が、この世界をよりよく変えてくれます。

多岐にわたる分野・団体への支援活動に役立てられています。
＜2024年度11月～2025年度3月までの活動＞

- 地球環境保全活動
- 戦争や紛争による被災者などの活動
- 大規模災害などの救援・支援活動
- 人権擁護活動
- 教育・文化などの子どもの健全育成活動
- 生活困窮者自立支援活動
- 障がいのある人たちの活動
- 防災・コミュニティ活動（いざいざ）

「連合・愛のカンパ」の取組み

「連合・愛のカンパ」は、入道主権や生活から「食・住・仕事・教育・文化・健康・福祉」など、社会生活のあらゆる分野で、社会貢献活動として取り組まれています。JICAの「愛のカンパ」プログラムへの支援、および税関労組が主催する「愛のカンパ」活動の支援を目的としています。

連合・愛のカンパ 事務局
日本労働組合総連合会(連合)

〒100-0002 東京都千代田区千代田1-1-1
日本労働組合総連合会 連合事務局
TEL: 03-5285-3513 FAX: 03-5285-3514
http://www.j-camp.jp/

皆様はじめまして！今期から書記次長を務めさせていただきますことになりました函館地本出身の田村と申します。初めてのことで少しだけ自己紹介させていただきますと、私は入関から十数年、北海道内の官署を転々として、組合においては地区分会長を数年務めていたものの、それ以外の経験は無く、未熟者の身ですが、選任された以上は役目を果たすよう尽力しますので、よろしくお願いたします。

近年始まった「書記次長のつばやき」ですが、自分の代で途絶えさせ

書記次長のつばやき

第17号

てしまうのもなんだか勿体ないという謎の強い衝動(決して前任者からの圧力等ではございません)に駆られているのもあり、今期も継続していきます。

人生初の東京生活、右も左も分からない仕事、といった公私における環境激変の中、最初の二カ月間はあつという間でした。この文章の執筆現在も要請行動中の合間時間を縫うようにして、ネタはどうしようかと頭を悩ませつつ、新聞作成に苦慮しているところではあります。次回以降少しでもエッセイらしいものをお届けできればと思っておりますので、今後とも一読いただけますと幸いです。

よろしくお願いします



書記長会議の様子



税関労組は11月1日、11月2日の2日間にわたり、各地区本部から書記長等が集まり、66期第1回書記長会議を開催しました。会議は各地における実情や問題点、また、関税局長交渉の議題、組合のあり方などについて話し合いが行われました。

66期第1回書記長会議